

報道関係者各位

2026年6月22日

【新刊案内】近代俳句の巨星・高浜虚子の未発表書簡が大量発見

師弟の魂の交流を綴る『夢も現も 一虚子と叡子の往復書簡集一』発売決定

近代俳句の巨星として知られる高浜虚子と、その愛弟子であり、虚子の小説『椿子(つばきこ)物語』のヒロイン・椿子の実名モデルであった叡子(えいこ)との間で交わされた、貴重な未発表往復書簡集がこの度出版されることとなりました。

本書『夢も現も 一虚子と叡子の往復書簡集一』は、叡子の娘に遺された古い文箱や虚子記念文学館に保管されていた膨大な資料から編纂された、300ページに及ぶ重厚な一冊です。

■ 本書の背景と意義

高浜虚子と直弟子 千原叡子。二人の間に流れていた慈しみ深くも瑞々しい時間が、数々の書簡を通じて鮮やかに蘇ります。これまで知られることのなかった、俳壇の巨匠としてではない「一人の人間」としての虚子の温かな眼差し、時には厳しく、時には茶目っ気たっぷりに弟子を導く姿が刻まれています。

タイトルの『夢も現も』は、小説というフィクション(夢)と、現実の師弟として歩んだ日々(うつつ)の境界線が溶け合うような、濃密な精神の交流を象徴しています。

■ 本書の注目ポイント

- 初公開の貴重な資料: 叡子が大切に守り続けた未発表の書簡を多数収録。
- 『椿子物語』の真実: 虚子の代表的小説のモデルとなった女性との、現実の交流が明らかに。
- 人間・高浜虚子の素顔: 十七音の定型を超えた、豊穡な人間性と独自の世界観が息づく「魂の対話」。
- 絶版になっていた小説の復刻: 絶版となっていた高浜虚子の小説「椿子物語」「絵巻物」同時収録

■ 編者・金蔵院葉子(叡子の娘)のコメント

この度、高浜虚子と母・千原叡子との往復書簡集を、6月22日に出版する運びとなりました。本書は、未発表の書簡に加えて、長らく絶版となっておりました虚子の小説『椿子物語』『絵巻物』を併せて収録した、文学史的にも貴重な一冊です。翻刻に思いのほか時間を要しましたが、ようやく完成の目処が立ちました。

小説と書簡を突き合わせて全体を見直したとき、私はこの書簡集が、虚子という作家にとって「第三の小説」とも呼べる物語になっていることに気がつきました。

虚子が亡くなるまで、他のお弟子さんや家族の書簡は残さずとも、母との手紙だけを死ぬまで手元に残し続けた理由が、この書簡集を読み解くことで得心がいったように感じております。虚子自身が、この書簡を通じて、もう一つの小説を完成させようとしていたのかもしれない。

まずは大阪の紀伊國屋書店 梅田本店、東京の紀伊國屋書店 新宿本店、ジュンク堂書店 池袋本店にて販売を開始し、主要な図書館や大学へも寄贈する予定です。決して大部で派手な出版物ではございませんが、日本の文学史を再考する上で、大変重要な意味を持つ資料であると自負しております。

この貴重な発見について、ぜひ多くの方に知っていただき、ご覧いただける機会をいただけたらと存じます。ご多忙の折とは存じますが、何卒ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

■ 書籍情報

- 書名:『夢も現も ―虚子と叡子の往復書簡集―』
- 編者: 金蔵院葉子
- 仕様: 348ページ
- 協力: 虚子記念文学館
- 発売日: 2026年6月20日
- 定価: 2860円(税込)
- 出版社: クリエイターズ・パブリッシング

■ 高浜虚子(たかはま・きよし)について

明治・大正・昭和にかけて活躍した俳人・小説家。正岡子規に師事し、俳句雑誌『ホトギス』を継承。「客観写生」「花鳥諷詠」を提唱し、近代俳句の確立に多大な貢献をした。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ホロンPBI

担当者名: 金蔵院葉子

電話番号: 078-219-3034

メールアドレス: office@holonpbi.com